

2月



心
園だより
体 智

希望が丘保育園 28-0331

生活の合い言葉

【後始末】
使った後 使う前より
きれいに美しくゴミはなし
【友情】
いやなこと 陰口でなく
言ってあげるのが 友情

1月も終わり、節分、立春を迎えると暦の上ではもう春です。暖冬の今年は、長岡の街にも早くも春の足音が聞こえて来そうです。進級、卒園まで残り2か月となりました。たくさんの思い出を作っていきたいと思います

12月、ばら組保護者を対象に給食試食会を行いました。親子でクリスマス製作、「子どもに身に付けさせたい食事マナー」と題した食育講座、親子で給食の時間。子ども達が配膳や片付けをする姿もご覧いただきました。終了後のアンケートでは「食事のマナー、保育園ではできていておどろいた」「姿勢正しく食べていたのでびっくり」「家と違いしっかりご飯を食べる姿を見ることができてよかった」「家では野菜を嫌がる子どもがパクパクと大きなお口で食べていて感動」「子ども達が残さず食べていることにびっくり」「全部食べれた」「おかわりまでできた」という自信や満足感で大切だなと気づきました…給食の時間の子ども達の姿に、多くの成長を感じていただけたようです。食育講座でも「親として子どもに教えてあげたいことがまだまだあると感じた」「できていることはほめていこうと思いました」等…多くの学びがあったとの声をいただきました。——「食育」とは、様々な経験を通して、「食」に関する知識とバランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。「食べることは生きること」親子の試食会を通して、年齢毎のお子さんの成長を認め、生きる力を育む学びの場として、来年度も実践していければと思います。

2月後半の発表会に向けて練習も盛り上がってきました。子ども達がどんな成長を見せてくれるのか、期待して見守ってください。

保育目標

“けじめのある生活”
一つひとつのことに真剣に取り組む。
“楽しい雪遊び”
寒さに負けず、元気で雪の中で遊ぶ。

心の目標

ぜんじょうせいじゃく
禅定静寂

良く考え、落ち着いて行動しよう
思いつきではなく、回りを見渡そう

保健だより

節分は窒息・誤嚥事故に注意!

節分と言えば【豆まき】。豆をまいたり食べたりが楽しい行事ですが、この「豆」について、子ども達と楽しむ場合には「窒息・誤嚥事故」に注意が必要です。

消費者庁が1/22 子どもの窒息・誤嚥事故を防ぐため以下のように注意喚起しています。

- 食べているときは、姿勢をよくし、食べることに集中させましょう。また、泣いている時に食べ物をあげるのもやめましょう。
- 小さく切りわけても子どもが口に詰め込むこともあるため、少しずつよく噛んで食べるよう伝え、様子を見守りましょう。
- 硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類は、5歳以下の子どもには食べさせないでください。
- 節分の豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、5歳以下の子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。

事故を防いで、楽しい節分をお過ごしください。



消費者庁
子ども安全メールより

インフルエンザが増加しています

1月は園内ではアデノウイルスや風邪が流行していましたが、周辺の学校ではインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行し始めています。感染症拡大防止のためあらためて以下のことにご留意ください。

- ・具合が悪ければ早めに医療機関へ。
- ・安静と休養を。特に睡眠が大切です。
- ・十分な水分補給を。お茶・スープ等もOKです。
- ・咳・くしゃみなどの症状のあるときは、感染防止のためマスクを着用しましょう。
- ・人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校・職場などに行かないようにしましょう。

- ◆ お子さんと保護者の間で家族内の感染が多くみられます。保護者の方もマスクを着用してください。
- ◆ 兄弟、家族で感染者のある方のお迎えは、玄関のインターホンで呼び出してください。職員が対応します。
- ◆ インフルエンザ、コロナは療養後の登園再開には、「療養解除届」が必要です。保護者が記入し提出してください。※園HPからもダウンロードできます。



2月の行事予定

- 2日(金) 節分豆まき
- 9日(金) 誕生会
- 11日(祝/日) 建国記念の日
- 12日(祝/月) 振替休日/休園
- 20日(火) 令和6年度入園説明会
- 22日(木) 発表会リハーサル
- 23日(祝/金) 天皇誕生日/保育発表会
- 26日(月) 発表会振替申込保育



～今後の主な行事～

- 3月8日(金) 誕生会
- 3月25日(月) 卒園式
※在園児＝11:30に降園
長時間保育はありません。
- 3月27日(水) 新年度物品販売

大災害後の子どもの心のケア

元日に発生した能登半島地震。園に在園している子ども達にとって人生初めての大きな災害になりました。大きな地震の後には、被災地以外でも小さな余震にびくっとしたり、ニュースの速報に不安になったりします。「助けて」という気持ちを言葉にできない子ども達ももっと不安なものです。世界で子ども達のために活動を続けるユニセフが「災害時の子どもの心のケア 4つのポイント」として、子ども達の身近にいる大人にできることを呼びかけているのでご紹介します。

1. 「安心感」を与える
・一緒にいる時間やスキンシップを増やす。
・子どもの疑問や心配には「もう大丈夫だよ」と伝えながら、簡単な言葉で穏やかに答える。
2. 「日常」を取り戻すことを助ける
・普段通りを保つ。「遊び」は子ども達の大切な「日常」。苦しい状況を忘れられるよう子ども達の相手をしてあげて。
3. 被災地の映像を繰り返し見せない
・乳幼児は映像や画像の伝える事実を十分把握できず、大きな衝撃を受けます。子どもがよく観ていたテレビ番組やDVDなどがあれば、そういうものを見せた方がいい。
4. 子どもは自ら回復する力があることを理解し、見守る
・子ども達の回復力に自信を持つこと。一時的な退行や甘えは子ども達が自らの心の状態を回復しようとしている過程です。「地震ごっこ」などの遊びも気持ちの整理法です。やめさせたりせず、見守りましょう。(参照) <https://www.unicef.or.jp/kokoro/>

節分豆まき(2日)

子ども達が自分で作った鬼のお面やお福さんのお面をかぶり、各クラスで豆まきごっこを楽しみます。

鬼は外！福は内！悪い感染症も無くなりみんな健康で楽しい一年になりますように!!

◎安全のため丸めた新聞紙を豆に見立てて遊びます。

◎お面は各クラスの豆まき終了後、持ち帰ります。



令和6年度入園説明会(20日)

4月から新しく入園される皆さまを対象に、保育園の生活を説明します。

保育発表会(23日)

今年度最後の行事「保育発表会」を開催します。保育園で日々楽しんできた歌や合奏、劇ごっこなどを大きなステージでご覧ください。

- ・日時：2月23日 午前9時20分～
- ・会場：長岡リリックホール・コンサートホール
- ※対象：すみれ組以上

園からのお願い

「自分で出来た」を大切に

「自分で出来た」というときの子ども達の笑顔はとてもまぶしいものです。2月を迎え、子ども達はますますいろいろなことが自分で出来るようになってきました。

自分でやりたいと思ったときに身に付くチャンスです。出来るだけ子ども達に自分でさせて達成感を味わわせてあげてください。

たとえば玄関での上着の着脱や履物を揃えることなど、大人がやれば短時間で終わるのですが、自分でやろうとする気持ちを大切に、少し時間はかかるかもしれませんが、子ども達にさせてあげてみてください。



諸経費口座振替について

諸経費の口座振替にご協力いただきありがとうございます。前月分を翌月10日に振替金額をお知らせし、20日(金融機関休業日の場合は翌営業日)に口座振替を行います。前日までに口座残高のご確認をよろしくお願いたします。